

タイトル	2021 年度 共同教育学部国語専攻「学校推薦型選抜」
評価のポイント	<p>【小論文】</p> <p>「漢文的教養」について論じた筆者の見解に対して、自分の考えを具体的に述べることを求めた。課題の理解力・論理的な思考力・文章表現力などに加え、新しい漢語を考案することで、発想力の豊かさも評価した。</p> <p>評価にあたっては、以下の点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文の内容をよく理解し、設問意図に沿った解答ができているか。 ・問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。 ・解答の記述に当たって正しい論理の運びができているか。 ・解答の論旨が明快であるか。 ・適切な表現ができていないか。誤字・脱字はないか。文章に乱れはないか。 ・制限字数を満たしているか。極端に短い答案になっていないか。 <p>加藤徹『漢文の素養 誰が日本文化をつくったのか?』、光文社新書、2006年、224—225頁)</p> <p>【面接】</p> <p>教科書にも掲載されている文学作品を音読させ、それに関する問題を話題として取り上げながら、質問に対する返答内容的確さや表現の適切さ等を評価した。</p> <p>評価にあたっては、以下の二点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問をよく理解した上で返答しているか。 ・高等学校までの国語の知識を十分に備えているか。 <p>【小論文解答例】</p> <p>筆者の指摘する通り、現在の日本人の漢文レベルは、低下しているのだろうと思う。大学入学共通テストには漢文の内容も含まれるが、国語の独自問題を課す大学では、漢文を出題範囲から除外している例も目にする。定期的に漢文を学べるような時間割になっていない高校もあり、漢文的教養が徐々に欠如するのも事実であろう。</p> <p>だが一方で、漢語に対する意識が希薄になったとは一概には言えないと思う。コロナ禍の中、例えば「ロックダウン」「クラスター」といった言葉が飛び交っている。これに対し、なぜカタカナ語を使うのか、「都市封鎖」「感染者集団」と言えば良いではないか、いやカタカナ語と漢語では意味するニュアンスが異なるのだ、といった応酬がSNS上でも噴出した。だから決して現在の日本人も漢語に対する意識が低下しているわけではない。カタカナ語が席卷する現代にあって、漢語に対してむしろ敏感になっているのではないかとさえ思われる。(397字)</p>